

林逸馬 はやし 小説家。明治二十六年六月二十一日福岡縣生れ。昭和四十七年九月一日歿（一九〇三—七二）。本姓隈元。筆名篠山二郎、荒津万作。東京帝國大學文學部社會學科卒。西日本新聞社入社、昭和二十二年退社。『の間かみ雑誌』、『九州文學』、『藝林』等の同人。

著書 『新女性觀』（昭和九年八月五日自刊、福岡・金文堂福岡支店）、

『續筑後川』（昭和十八年六月十五日京都・第一藝文社）、『ドスト

イエナスキー―生涯とその藝術』（昭和十八年八月二十日若く人社）、

『筑後川（正續合本）』（昭和十八年十一月十九日京都・第一藝文

社）、『旅宿』（昭和二十二年六月二十日五月書房）、『サルと人間

の間』（昭和二十二年九月二十日五月書房）、『運命のSOS』（昭

和二十三年九月二十日東京創元社）、『危険な娘』（昭和二十二年十

一月十六日東京ライオン社）等。

